

親鴨会野洲支部総会報告

親鴨会野洲支部総会は4月15日（土）、支部会員20名と野洲事業所齊藤人事担当のご参加を得て、昨年と同じ会場で行われました。支部会員数も79名となり、今総会は、支部発足から6度目でいままでの最多数のご出席がありました。

初めに、齊藤担当と、支部会員でもある須山日本アイ・ビー・エム総務サービス野洲総務サービス本部長から会社と事業所の近況が話されました。会社、事業所をとりまく状況の変化と、その対応に驚いたり感心したりしました。

平成11年度の活動・決算報告および12年度の活動計画が承認され、今年度の役員として会長・副会長・書記／会計・5名の幹事代表を推薦し、承認されました。書記／会計は、年代の若返りと豊かな人柄による支部のとりまとめを期待して、井上良一氏に役割をお願いしました。

8月6日には、近江八幡西の湖の船の上での納涼会が予定されています。葦の間を巡りながら、同じ水面から打ち出される花火を楽しみます。

総会議事に引き続き、懇親会を行い、出席の皆さんから近況などが話されました。病気になって落胆していたときに、同じ病気だった会員を看護したその夫人から、必ず治ると激励されて回復への力づけになったというお話しに、一同感銘を受けました。それぞれに、独自のかけがえのないご生活を送っておられることは、互いにとても参考になりました。

昨年のいくつかの行事には他支部の方々の参加があり、共にする機会と思わぬ再会などを喜びました。今年も近くから、遠くからのご参加があることを楽しみにしています。

（平野 正）